

窓

— 同窓会だより —

No. 106 (平成 30. 8. 11発行)

富山県立魚津高等学校同窓会



- 1面 同窓生寄稿
- 2面 同窓生寄稿、食堂案内
- 3面 同窓生寄稿 (49回生より)
- 4面 魚高生の一コマ、魚高生の活躍

あれは魚津高校2年生の終わる春休みだったと思う。以前から計画していた「奥の細道」をたどる独り旅を決行することにした。貧乏高校生ゆえ、交通手段はすべてヒッチハイクと徒歩。宿泊は学校か寺に頼み込んでタダで泊めてもらうというムシの良い計画。所持金は食糧を買うために用意した3万円ほどだったと思う。

奥の細道は17世紀後半の俳人、松尾芭蕉が執筆したいくつかの紀行文の中の最高傑作だ。46歳の芭蕉は41歳の門人、曾良を伴い、江戸から関東、東北、北陸を経て伊勢に達する2400キロもの道のりを5カ月かけて歩き、各地で歌枕をたずねた。

私は懐具合と相談し、訪問する先を数カ所に絞り、5〜6日間のスピード行脚とすることにした。

魚津郊外の国道8号で、通り過ぎる車に手を挙げ続けていると、トラックが停まってくれた。長野県の諏訪まで行くという。終点で降り、次の車を拾おうと手を挙げていると、パトカーが停まった。誰何され、生徒証を見せろという。しまった。生徒証は家に置いてきている。何とか自由にしてくれたが、家に電話して、生徒証を東京の親類宅に郵送してもらうことにした。



下野新聞社 相談役

観堂 義憲 (魚高17回)

「奥の細道」をたどる独り旅

55年前、日本社会は今よりずっと牧歌的で人間も親切だった。トラックや乗用車は次々に停まってくれ、学校は(どこも渋々だったが)寝所を提供してくれた。

東京から北上し、埼玉、栃木、福島、宮城を経て岩手県に入ったのは出発から4日後だった。県南部の平泉と中尊寺は一度訪れたいと思っていた。「夏草や兵(つわもの)どもが夢の跡」は奥の細道の最も有名な句の1つだ。奥州藤原氏にかくまわれた源義経の居館があったとされるあたりで、300年前の芭蕉の感慨に思いをはせた。

入社し、大阪でほぼ10年間警察や司法などを担当。その後、東京の国際報道部門に移った。1980年代から90年代にかけて、テヘラン、カイロ、ローマ、ロンドン、ワシントンでそれぞれ2〜3年を過ごした。

当時の世界は中東や欧州で戦争や革命、テロが頻発しおびただしい死者と難民が出る激動の時代だった。1979年のイラン・イスラム革命とソ連軍のアフガニスタン侵攻は2001年のアメリカ同時多発テロを引き起こし、今も各地で続くイスラム過激派によるテロにつながっている。

国際報道担当記者は戦争や革命が起きると本社から「現地に入れ」と指示される。ほぼ全ての場合、単独行動だ。冷や汗をかいたことが3回。イランとルーマニアでは乗る予定だった航空機に事情があつて乗り遅れたが、その航空機がどちらも墜落した。ユーゴスラビアでは戦場取材で乗る予定のヘリがミサイルで撃墜された。

単独の取材行は、高校の時の奥の細道単独行の経験が、多少役立ったのかもしれない。若い時は苦労は買ってでもせよ、だと思ふ。

中尊寺の金色堂は「五月雨(さみだれ)の降りのこしてや光堂」の現場だ。まわりに人影はなく静まりかえっている。

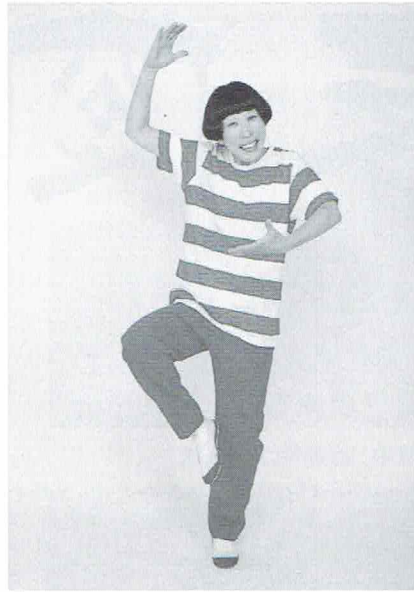
そこから30キロほど北上して北上(きたかみ)で西に折れ秋田県に入った。日本海に出て南下し象潟へ。絶景を目にした芭蕉は「象潟や雨に西施がねぶの花」と詠んだ。当時松島と並んで称された景勝地だったが、19世紀の土地隆起により私が訪れたころはかつての面影もなかった。

私は大学を卒業した後、毎日新聞に

テレビ・舞台等で活躍中の魚高校生!!

浅井企画所属

牧野ステテコ (魚高50回)



魚津高校生の皆さんこんにちは。魚津高校卒業生の牧野ステテコです。職業はお笑い芸人です。といつてもついこの間まで、お笑いの仕事だけでは食べていけず、週に5日程飲食店でバイトをしながら芸人活動を続けていました。昨年のTHE Wという女芸人の大会で決勝戦に残れたのをきっかけに少しずつテレビに出さして頂いたり、イベントに呼んで頂くなど、お笑いの仕事が増えてきたところですよ。

高校時代の私といえば、部活動のバレーボールをやっている、家に帰れば映画ばかり見ていました。当時のバレーボール部はそこまで練習が厳しくなく、同級生や先輩、後輩と楽しく練習しており、その和やかな雰囲気

と自分に甘い性格のため、技術的にはなかなか上達はしませんでした。バレーボール部のみんなと過ごした時間はとても楽しかったです。よく練習終わりで高校近くのお好み焼き屋さんに行つて、そのお店が一番安い昆布のお好み焼きを食べていたのを思い出します。あのころは普通に食べていた昆布のお好み焼きですが、富山を離れると昆布のお好み焼きがかなり地方色の強い珍しいものだったことがわかり、少し驚いています。お店の名前は忘れてしまいましたが、あの素朴なちよつとしよっぱいお好み焼きの味が時々とても懐かしく、もう一度食べてみたいです。あのお店はまだあるのかなあ。

あとはなぜかとても映画にはまっついて、テレビで放送される映画はほぼ全てVHS(懐かしい!)に録画して、TSUTAYAでお小遣いの許す限りビデオを借りて映画を見ていました。というわけで、勉強はあまりしていない高校生活でした。案の定、受験の前は焦りまくり、なんでもっと早くから勉強していなかったのかととても後悔した記憶があります。やらなければいけないことがあるのに、ぎりぎりまで追い込まれないと、ものごとに取り掛かれないのは今でもかわらず、ライブの直前になってネタ作りに四苦八苦です。ネタ作りをする38歳!!学生時代の私には思いもよらない未来です。高校生時代の私に自分が将来お笑い芸人になると伝えたら、おそらくとてもびっくりして信じられないだろうと思います。もともと小さいころから芸人になりたいと思っていたわけでもなく、芸能界なん

て自分とは程遠い別世界だと思つて過ごしていたのに、25歳のときになんとなく面白そうとはじめた芸人活動が10数年後の今まで続けられているなんて!!とても幸運で幸せです。もっともつとたくさんの皆さんに楽しんで頂けるよう芸人生活、日々精進していきたいと思ひます。拙い文章お読み頂きありがとうございます。

本名：牧野 朋子
テレビ、舞台、ライブ等多数出演

★主な持ちネタ★
乙女キャラの「乙女ちゃん」、パンチラキャラの「パンチラ牧野」、全身馬の着ぐるみの「ウマのウマ子」、レオタード姿の「たまらん子」、OLキャラの「お茶くみ子」、ポールダンスーキャラの「ポール牧野」など多彩なキャラに
なりきる。

同窓生の皆さまも 食堂をご利用頂けます

記念館100「蟹窓館」内の食堂は、在校生だけでなく同窓生も利用できます。

メニューは定番のラーメンからカレーライス、うどん、そば、日替わり定食まで、いろいろメニューが揃っております。営業時間は、12:00から13:15まで。

営業日と週間献立は、同窓会のホームページから確認できます。

ぜひ、母校へ足をお運びご利用ください。



あれから22年

今年度幹事学年

(49回生より)

クラスメートからのひと言

北日本新聞社編集局文化部長

高野 由邦



「あなたの学級日誌面白いね、毎回楽しみ」。3年生の時、クラスメートから何気なく言われたひと言が、その後の人生に少なからぬ影響を与えた。「女子生徒に見栄をはるため、全く手の出ない一橋の赤本を常に机上に置いていた」みたいな内容だった。

つぶしがききそうな理由で都内の大学の法学部に進学。法曹を目指す学生が多かったが、それほど法律に興味があったわけでもなく、就職活動した。不運にも超氷河期で苦戦を余儀なくされた。闇雲にエントリーする中、先述のクラスメートのひと言が脳裏をよぎった。「ものを書く仕事も悪くないかも」。新聞社の門を叩き、今に至る。事件取材、広告営業、雑誌編集と幅広く経験させてもらった。

高校3年間はとて長く感じられたが、その後は本当にあつという間。蒸し暑い教室でマーク模試と格闘していた22年前の夏が、つい昨日のようだ。同級生とは今も親交があり、年3回旅行に向く。利害関係のない友人は、かけがえのない存在と今改めて実感している。

「あの日々が生きる、今」

社会福祉法人めひの野園 手づくりパン工房
やねのうえのガチヨウ 主任

石川 権一



「人の役に立つ仕事が出来た」と思い、福祉を学びに県外の大学へ進学した。私は今、毎日パンを作っている。

22年の間に何があったのかと思われそうな書き出しであるが、大学卒業後は、精神保健分野のソーシャルワーカーを経て、現在は富山市内で自閉症や知的障害のある方達の就労支援に携わっている。その舞台こそが「街のパン屋さん」なのである。

障害のある利用者が出来ることや得意なことを活かして主体的に働く働きのある人間らしい仕事(デイサービス・ワーク)を実現する一場所、その人の持つ力を発揮できる仕事や役割を構築することが私の職務である。私もともに汗を流してパン作りに追われているのが実情ではあるが、活き活きと働く彼らに囲まれて、私自身も働きのある毎日を通してさせてもらっている。

障害者福祉の現場は、画一的な仕事をこなすだけではなく、利用者個々の姿を見極め、それぞれにマッチする支援を提供することが求められる。そのためには、支援者が積極的に利用者や環境に関わり働きかけていくことが重要である。魚津高校での3年間を振り返ると、様々な学校行事や部活動の中で今に生きる主体性が培われたのではないかと感じている。

あの春の景色を胸に

清田 朝子

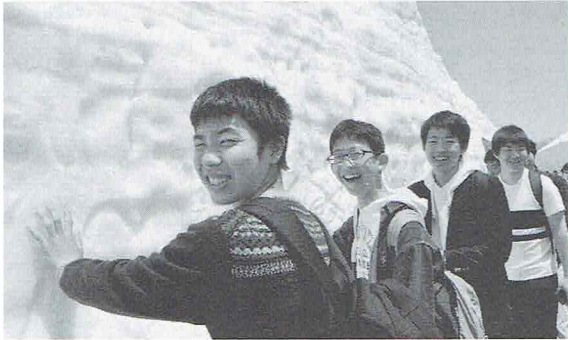


高校卒業後、大学でサックスを専攻し、夫の転勤により、愛知から東京へと移り、そして、現在は広島にて、演奏活動、及び、サックス指導者として活動しています。

将来の進路について悩んでいた一年生の冬、吹奏楽部のサックスの友人が、後に師匠となる雲井雅人先生のレッスンに連れ出してくれました。本当のことを言うと、最初は嫌々受けたレッスンでしたが、師匠の音を聴いて衝撃を受け、こんな音が出したい！という一心で、音楽への道を決意しました。魚津高校に入學していなければ、音楽の道に進むこともなかったかもしれせん。高校時代は、音楽への憧れと、現実との狭間で、揺れていましたが、友人や先生方にたくさん励まして頂きました。

自由で活気溢れる校風の魚津高校。その中でも記憶に残っているのは、学校の屋上で、サックスの練習をしていた時のことです。春風の中、仰ぎ見れば、雪を被った立山連峰。校庭には、こぼれそうに桜が咲き誇り、日本海はこれ以上ないほど青く、また、太陽の光を浴びて銀色に光っていて、この素晴らしい景色のような音を出すんだ！と強く思いました。卒業から20年以上経ちましたが、今でも同じような気持ちで、音楽を続けているような気がします。あの春の景色を心の片隅に置いて、これからも演奏していきたいと思えます。

魚高生のコマ



1年生遠足(雪の大谷)



2年生化学実験(中和滴定)



球技大会 3年生の健闘

魚高生の活躍 (平成30年4月～7月)

○陸上競技部 北信越大会出場

第71回富山県高等学校陸上競技対抗選手権大会		
女子400m	1位	河中胡生芽 (2-3)
女子100m	2位	河中胡生芽
女子200m	5位	河中胡生芽
共通女子500mW	4位	石倉京華 (3-3)
男子200m	5位	横谷悠斗 (3-3)
男子3000mSC	5位	石崎孟 (3-2)
男子ハンマー投	5位	高田康平 (3-1)
女子トラックの部	5位	魚津高校

○水泳部 北信越大会出場

第71回富山県高等学校選手権水泳競技大会		
男子1500m自由形	2位	館慧樹 (2-1)
男子400m自由形	5位	館慧樹
男子400m個人メドレー	3位	山本稜弥 (2-5)
男子100m平泳ぎ	5位	山本稜弥
女子100m背泳ぎ	3位	石崎理来 (1-3)
男子400mメドレーリレー	4位	山本稜弥
		堀内翔太郎 (2-4)
		石崎健太 (3-1)
		館慧樹
男子200m個人メドレー	5位	石崎健太
男子400mリレー	5位	山本稜弥
		山田創太 (3-4)
		堀内翔太郎
		伊原遼 (1-1)

○柔道部

第59回北信越高等学校柔道大会	
男子個人66kg級	5位 板澤俊介

○ダンス同好会

全国高等学校ダンスドリル選手権大会2018甲信越大会
ヒップホップ男女混成部門 全国大会出場

○将棋部

第31回全国高等学校将棋竜王戦 富山県大会
3位 高須匠 (2-2)

第42回全国高等学校総合文化祭出場

○放送部	北村優樹 (3-5)
	阿部凌征 (3-4)
	笠原匠人 (2-2)
	上田昂伸 (2-4)

○写真部

	片井光彦 (2-1)
--	------------

○将棋部

	清田有希子 (1-4)
--	-------------

○少林寺拳法 全国高等学校総合体育大会出場
第67回富山県高等学校総合体育大会 少林寺拳法
単独演武 1位 松島航太郎 (1-2)

原稿募集のお願い

本校同窓生で「こんな方を知っている」「こんな方が活躍している」という方はいませんか？ 他薦は問いません。原稿をお寄せ下さる方募集しています。

富山県立魚津高等学校同窓会

〒937-0041 富山県魚津市吉島945番地
TEL (0765) 22-0221
FAX (0765) 22-9970

同窓会ホームページ

<http://uozu-dosokai.net/>

魚津高校ホームページ

<http://www.uozu-h.tym.ed.jp/>